

12月4日



### 「来年はぜったいに優勝します」 吉井さん兄弟が空手の全国大会で上位入賞

国立代々木競技場第一体育館で厳しい予選を勝ち抜いた約1500人の子どもたちが学年・体重別の部門で頂点を目指す「第13回JKJO全日本ジュニア空手道選手権大会」が11月4日に行われ、浅小井町在住の金田小学校5年の吉井類さんと同小3年の連さんの兄弟がそれぞれ準優勝、3位の上位入賞を果たしました。ともに小学校1年生から空手を始め、全国大会の出場は昨年に続き2回目。母親の美加さんと共に小西市長に報告に訪れた席上で二人は「次回は絶対に優勝します」と決意を新たにしていました。

11月23日



### 「のろし駅伝」瓶割山山頂で 2つの白煙、秋晴れの空高く

中世の連絡手段の一つ「のろし」を琵琶湖周辺の山城跡でリレーのように次々上げる「第18回琵琶湖一周のろし駅伝」。市内でも瓶割山城跡、北之庄城跡、水荃岡山城跡の3カ所で取り組まれました。柴田勝家ゆかりの瓶割山山頂では金属製の煙突や発煙筒を利用したのろし2つに定刻に点火。白い煙が秋晴れの空に上がり、集まった長光寺町や長福寺町の有志や自治会役員らは歓声を上げていました。

11月25日



### 「輝け！八中」休まず発行し創刊35周年 伝統をつなぐプレートを贈呈

1984年の創刊から35年間続いている八幡中学校の日刊生徒会新聞「輝け！八中みんなの学校」の創刊年度の卒業生の同窓会が記念プレートを作成し、同校へ贈りました。「すべての生徒や教職員、そして保護者が校内の良いことも悪いことも事実として情報を共有すること」をモットーに創刊時から一貫して手書きでB6判の紙面を作成。学校の休日以外は1日も休まず発行しています。創刊当時の同窓生が50歳を迎えた記念に開いた同窓会で、自分たちが中学3年時に発刊されたこの新聞を誇りとして、これからも発刊を継続してもらい、母校の発展に寄与しようとの願いから贈呈されたものです。

12月14日



### 早くこいこいお正月 しめ縄づくりに挑戦

奥村家住宅で伝統文化に触れる体験「手づくりしめ縄教室」が開催されました。

「文化遺産としての松明を次世代へ贈る会」のメンバーの指導を受けながら、邪気が入ってこないように願いを込め、悪戦苦闘しながらも束にしたワラをよじり、丁寧に縄を作りました。最後に、水引や万両などの飾りをつけ、個性豊かなしめ縄が完成し、新年を迎える準備ができました。



Facebook  
ページは  
こちら



赤こんりポート

山田 恵美リポーター



### 子どもの目線で作品楽しむ

第64回近江八幡市美術展覧会が12月4日から8日まで、市文化会館で開催されました。平面、立体、工芸、書、写真の5部門257点の作品が出品され、最終日の8日は朝からたくさんの来場者が訪れ、作品の鑑賞を楽しんでいました。

私も子どもたちの目線で一緒に作品を見てみました。目線の高さを変えるだけでまた違った視点で作品が見えます。「このお花きれいやで」「猫かわいいな」「これ怖いわ」と感じた想いを素直に言葉にする子どもたち。ゆっくり、静かに楽しむのは子どもたちにはまだ難しいですが、親子で楽しめるアート時間となりました。



近江八幡市公式  
Instagram



### 「#走れ赤こんくん」に投稿を

市内で撮ったとおきの写真に、ハッシュタグ「#走れ赤こんくん」を付けてつながりましょう！投稿いただいた写真は広報紙面などで紹介させていただきます。



@kentasgmrさんの作品

11月22日



### 現地の子どもの健康に貢献 青年海外協力隊員としてガーナへ赴任

JICA(独立行政法人国際協力機構)の青年海外協力隊員として、ガーナ共和国に派遣される為心町上在住の北川木之美さんが、1月初めに2年間の任期で赴任地へ向け出発するにあたり、市役所を訪れました。

赴任地のガーナでは、セントラル州アゴナ・スウェドル市にある「ガーナ教育サービス アゴナ・ウエスト郡事務所」に配属され、学校に保健室のない地区で小中学校に保健室を作る活動に従事する予定です。

北川さんは、「まずは、地元の人たちとたくさん交流を深め、文化を学びたい。現地の子どもたちに、自分で自分の健康を守る方法を知ってほしい」と意気込みを語りました。

赤こんりポート

馬場利男リポーター



### 伝統行事「古式弓初式」の的づくり

正月の行事として、悪事や災難を射抜き、富や宝を射ちとどめるため、江戸時代前期から伝わる神事の的づくりが11月1日、中之庄町の天之御中主尊神社あまのみなかぬしみことで行われました。10月頃に近くのびわ湖岸で育った青ヨシを割り広げたもので、宮仕(五人衆)によって縦・横58本、1.5メートル四方の大きさの的を半日がかりで網代編あじろみしました。

1月12日(日)に還暦を迎える人と厄除けに参拝する人たちが1年の多幸を願って、昔から伝わる檜の小枝と地中をはっている藤のつるで作った弓に、しのべ竹にゆずり葉を取り付けた矢で、的に放す神事が行われます。